



**プロトタイプ WMAS、「世界無線通信会議」のステージを盛り上げる  
Sennheiser、米国のレセプションでオーディオスポンサーとして起用**

ヴェーデマルク／ドバイ、2023年12月 – Sennheiser は、「世界無線通信会議（WRC）2023」において米国のレセプションの公式オーディオスポンサーを務めました。会議のオープニングウィークに開催された同イベントは大成功を収め、1,200人以上の会議参加者がソニック・クルセイダーズの心奪われるライブを楽しみました。バンドはステージで Digital 9000 ワイヤレスマイククロフォンのに加え、ハンドメイドのプロトタイプ WMAS（Wireless Multi-Channel Audio Systems）を使用して、極めて明瞭なデジタルインイヤードオーディオを実現。ドバイを拠点とするイベントサービスプロバイダーの 3DB がプロジェクトマネージャーの Stuart Andrews 氏と協働し、イベント用のすべての音響、映像、照明、ステージ制作機材を提供しました。

WRC の米国レセプションでパフォーマンスするソニック・クルセイダーズ

（写真提供：3DB）





Sennheiser のスペクトルポリシーおよび標準チームリーダーを務める Dr. Andreas Wilzeck は、以下のように述べています。「米国の国際電気通信連合（USITUA）から誉れ高いレセプションのオーディオパートナーとして Sennheiser を選んでいただき、光栄に思います。コンサートでは、ハンドメイドのブロードバンド WMAS のプロトタイプに加えて、従来のナローバンドデジタルワイヤレスリンクも使い、2つの技術のシームレスな共存を実現しました」

ステージではプロトタイプ WMAS を従来のナローバンドシステムと併用

(撮影：3DB)



3DB のプロジェクトマネージャーである Stuart Andrews 氏は次のように述べています。

「Sennheiser のチームとコラボし、実際のコンサートで WMAS をテストする素晴らしい機会を持ったことに心から感謝しています。WMAS プロトタイプには本当に感動しました。コンセプトとデザインもとても良く、性能はまさに“次のレベル”で、今後はライブオーディオのさまざまな領域でゲームチェンジャーとなることでしょう」

米国のレセプションは 11 月 22 日、ジュメイラ・エミレーツ・タワーズの中のルーフテラスで開催されたため、屋外で風の影響もあるという難しいロケーションでした。ボーカルとアコースティックギター用のメインのワイヤレスシステムとして、3DB は EM 9046 レシーバー×1 と、SKM 9000 ハンドヘルドトランスミッター×7、SK 9000 ボディパケットランスミッター×1 を採用。リードボーカル用のハンドヘルドマイク 2 本にはリジェクションに優れたスーパーカーディオイドの MM 445 カプセルが、バックボーカル用のハンドヘルドマイク 5 本にはカーディオイドの MD 9235 カプセルが、それぞれ選ばれました。

そしてワイヤレスモニター信号を提供するのが、ハンドメイドのプロトタイプ WMAS です。イベントの FOH エンジニアを務めた Jason Banta 氏はシステムを非常に高く評価しました。

「WMAS は、厄介な RF 環境で多くのプレッシャーを軽減してくれます。プロトタイプの伝送性



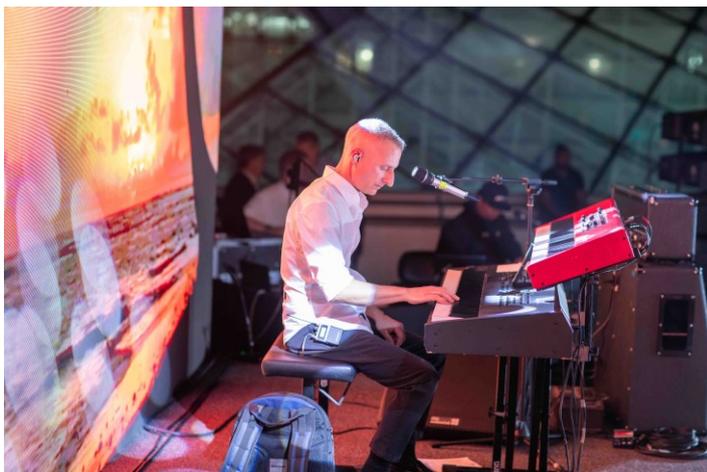
能は極めて安定しており、耳で感知できるレイテンシーもなく、音質も Sennheiser に期待するとおりのものでした」

イベント会場での FOH エンジニア、Jason Banta 氏

(写真提供：3DB)



ボーカルの Susan Andalaro も Banta 氏と同意見です。「WMAS プロトタイプの内イヤモニター信号は、これまで使った中で最高品質です。バンドメンバーのすべての音をとても正確に聴き取れました」ボーカルの Vanessa Pare は次のように付け加えました。「非常に感銘を受けました。内イヤモニターで聴いた楽器のバランスは、まさに求めていたものでした。ショーの間にイヤモニを外したりする必要もなく、音質も素晴らしいですね」



プロトタイプ WMAS は IEM システムに使用し、ボーカルには Digital 9000 マイクを採用

(写真提供：3DB)

バンドの音楽ディレクターを務める Dave Tarzian 氏は以下のようにまとめています。

「Sennheiser の新しい WMAS テクノロジーを内イヤモニターに使うという稀有な機会に感謝しています。プロトタイプは期待を上回っただけでなく、真の没入感と、比類のないオーディオエクスペリエンスを提供してくれました。接続の安定感、パフォーマンスへの干渉の無さ、極めてクリアなサウンドなど、忘れがたい感銘を受けましたね」



ドラムには有線の evolution マイクロフォンを採用し、バスドラムには e 901 と e 902 を、オーバーヘッドマイクとして e 914s を、タムとスネアには e 904 と e 908 をそれぞれ用いました。ギターアンプ 2 台には e 906s が、ベースアンプにはクラシックな MD 421 II が選ばれました。さらに 3DB がギタリスト用に 2 つの EW-DP システムを自社開発のワイヤレスペダルボードと接続し、ギタリストがステージ上やオーディエンスの間を自由に動ける環境をつくり上げました。

3DB が開発したワイヤレスペダルボードと EW-DP ワイヤレスレシーバー

(写真提供：3DB)



「世界無線通信会議では、いくつもの難しいテーマが扱われ、さまざまな意見が交わされます。ソニック・クルセイダーズは音楽を通して人々の心に触れ、オーディエンスを一つにしました。今回のコンサートが、PMSE (Programme Making and Special Events) に対する人々の理解を深めるうえでも役立ったなら幸いです。人は、自分が良いと思ったものなら、支持しますから」  
(Dr. Wilzeck)





(以上)

写真はすべて 3DB が提供。高解像度写真は[こちら](#)でダウンロードしていただけます。

ソニック・クルセイダーズの楽曲は[こちら](#)でお楽しみください：

<https://www.soniccrusaders.com/>

### **Sennheiser ブランドについて**

Sennheiser は、まごうかたなきオーディオメーカーです。違いを生むオーディオソリューションを生み出すことに情熱のすべてを注いでいます。カスタマーのためにオーディオの未来をかたちづくり、独自のサウンド体験を生み出す—これこそが、Sennheiser ブランドが 75 年以上もの長きにわたり目指してきたゴールです。現在、マイクロフォン、ミーティングソリューション、配信技術、モニタリングシステムといったプロフェッショナルオーディオ事業は Sennheiser electronic GmbH & Co. KG が、ヘッドフォン、サウンドバー、音声強調デバイスといったコンシューマー事業は Sennheiser のライセンスのもと Sonova Holding AG が、それぞれ展開しています。詳細はウェブサイトをご覧ください：

[www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com)

[www.sennheiser-hearing.com](http://www.sennheiser-hearing.com)

### **当プレスリリースに関するお問い合わせ**

ゼンハイザージャパン株式会社

永富

[teruishi.nagatomi@sennheiser.com](mailto:teruishi.nagatomi@sennheiser.com)

+81 364068911

ゼンハイザージャパン PR 事務局

中村

[sennheiser@pjbc.co.jp](mailto:sennheiser@pjbc.co.jp)

+81 345809156